

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493500167	事業の開始年月日	平成24年4月1日
		指定年月日	平成24年4月1日
法人名	株式会社メディカルケアシステム		
事業所名	グループホームちいさな手癒しの里横浜さかえ		
所在地	(247-0005) 横浜市栄区桂町716		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員 計 18 名 ユニット数 2 ユニット	
自己評価作成日	令和7年1月13日	評価結果 市町村受理日	令和7年6月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当ホームは、近くにいたち川があり春は、桜、秋は銀杏の匂いを五感で楽しみながら散歩しております。外観は斬新なデザインで、中に入ってみたいと思わせる造りになっております。

内観ですが、リビングでは日当たりが良く明るさを感じる事が出来ます。大きな庭もあり、入居者様は、お花の手入れや鑑賞を楽しむ事が出来ます。入居者様のやりたい事や好きな事を引き出せる様に支援を行っております。その為、毎日、ぬり絵や脳トレ等のレクリエーションが行われております。また入居者様の残存機能維持為に積極的にお手伝いに参加して頂いております。職員には、5Sや接遇マナーを意識するよう周知しております。ホーム内で職員同士、目が合うと「おはようございます。お疲れ様です。」と挨拶の言葉が自然と交わされ良好なコミュニケーションを実現しております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和7年2月21日	評価機関 評価決定日	令和7年5月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所はJR根岸線「本郷台」駅から徒歩10分、あるいはJR「大船」駅からバスで10分の「本郷石橋」バス停から徒歩数分の所にあります。いたち川から少し入った閑静な住宅街の中にあります。

＜優れている点＞

利用者の外出の時間を少しでも多く確保できるように努めています。入浴日を固定し、入浴支援を行わない曜日を確保することで外出時間を作り出し、日常で外出できるようにしています。入居後に、居室担当職員が利用者の様子を観察したり声掛けをして利用者の思いや要望などを法人様式の「私をわかってシート」に記載しています。利用者の思いなどの情報を職員間で共有し、介護計画に反映しています。また、5S（整理、整頓、清潔、清掃、躰）を徹底しています。0と5の付く日と日にちを決め、窓の桟など普段見落としがちな所も掃除しています。共有空間のリビングを明るく、清潔保持に努め、季節の飾り物もさり気なく飾り、過ごしやすい空間にしています。階段の踊り場のサンルームにはテーブルやイスを配置し、利用者が思い思いに寛げるようにしています。

＜工夫点＞

運営法人主催の年間稼働率賞やフォトコンテスト2位を受賞しています。受賞したことによって、職員は利用者が何時までも元気で笑顔でいてほしいとの思いが深くなり、より良い支援に努めています。利用者が入院に至らないようにケアに力を入れたい、利用者の笑顔をもっと引き出したいと職員のモチベーションアップに繋がっています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	12 ～ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	17 ～ 23
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホームちいさな手癒しの里横浜さかえ
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	✓	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	✓	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		✓	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		✓	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	✓	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	✓	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		✓	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	会社、事業所の理念を毎朝の朝礼時に「クレドカード」の唱和と、事業所理念の唱和を行っております。	理念や大切にしていることなどを記載したクレドカードを職員に配布しています。職員皆で考えた事業所の目標は各フロアに掲示し、クレドと事業所の目標を毎日の朝礼時に唱和しています。入職時には法人代表から理念について詳しい説明があり、職員は理念を共有して実践に繋げています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	オーナー様がホーム隣にて毎週、野菜の直売を行っており、散歩時には、入居者様も会話をされております。	自治会に入会し、いたち川の清掃活動や玉ねぎの収穫に利用者とともに参加したこともあります。毎週オーナーが事業所の横で野菜の直売をしていて野菜をもらうこともあり、夕食の副菜が1品増える時もあります。散歩時には近隣の人と挨拶を交わしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	いたち川の清掃活動に参加した事があります。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回のペースで開催しております。オーナー様、包括、民生委員に参加をお願いし開催しております。	運営推進会議は横浜市高齢障害支援課、地域ケアプラザ、民生委員、オーナー、家族などに声をかけて2ヶ月に1回開催しています。事業所の活動報告や事故報告、地域との情報交換、意見交換をしています。事業所の庭に植える花の相談なども気軽に話せる関係性を構築しています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	栄区役所の方に運営推進会議への参加依頼、開催後の議事録を提出しております。	栄区高齢障害支援課は運営推進会議の構成員として参加を得ています。事業所の実情を伝え、アドバイスを貰うなど協力関係を築くようにしています。運営推進会議の議事録は毎回同課に提出しています。消防署とは避難訓練の際の書類提出や避難の際のアドバイスをもらっています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的に委員会や研修会を行い身体拘束をしないケアの実践をしております。	3ヶ月に1回の身体拘束廃止委員会や研修を通して職員は身体拘束について学び、言葉の拘束も含めて、どうすれば良いケアが出来るのか意見交換をしています。ふらつきのある利用者には家族の了解のもとに離床センサーを設置したり、マットレスを敷いて転倒リスクを軽減するなどの工夫をして、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に委員会や研修会を行い虐待防止の徹底に努めております。	3ヶ月に1回虐待防止委員会や研修を開催しています。管理者は常日頃の会話を通じて職員がストレスをためないように配慮しています。職員間の気づきを相手に伝えられる、あるいは管理者を通して伝えることが出来るよう職員間の意思疎通を大切にしてい、虐待防止に取り組んでいます。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員へは、研修会にて権利擁護についての知識の習得に努めております。また制度については、運営推進会議にて情報収集を行い制度の活用ができる様に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居の契約時には、契約者様と一緒に契約書の読み合わせを行い、疑問点や質問点を確認しております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時、入居者様の様子を話しながらご家族様の意見を伺っております。	利用者とは日頃の何気ない会話の中から意向を聞いています。家族とは面会の際に積極的に家族へ声掛けをして、意見などを聞いています。家族からの「母が笑顔になって良かった」という言葉に職員の方が励まされています。外部評価の家族アンケート結果を運営に反映しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々、職員には意見を言える様に「何かありますか。」と確認しております。	管理者は職員と努めてコミュニケーションを取り、意見を言いやすい環境を整えています。職員の意見をもとに仕事の流れを変えています。職員の意見から業務改善を行うことにより、利用者の生活は変えずに効率的な仕事の流れを作り出しています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	社内表彰があります。年間稼働率賞を受賞する事ができました。このような表彰制度がやりがいに繋がっております。	年間稼働率賞やフォトコンテスト2位などの社内表彰を受賞しています。受賞によって、職員は利用者が何時までも元気で笑顔でいてほしいと思い、ケアにも力が入り、やりがいに繋がっています。有給休暇も取りやすく、向上心を持って働ける環境を整えています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新入職者は、本部にて開催する研修に参加し会社の考えを習得できる機会があります。初任者研修、実務者研修を受講できる環境があります。実務では、OJT期間を職員の力量に合わせて柔軟に調整しております。	毎月内部研修を実施しています。外部研修は勤務扱いとなります。新入職者は運営法人の研修で社長から理念などの説明を受けています。事業所は新入職者に「新人ハンドブック」を配布しOJT制度で先輩が丁寧に仕事を教えています。初任者研修や実務者研修は社内で受講できるように整えています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	本社にて管理者会議が定期的で開催され、その会議が交流の場にもなっております。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前、ご本人様にお会いし、不安の軽減や要望が実現できる様に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居相談時、契約時に確認しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居相談時、入居前にご本人様にお会いした時、契約時にその都度確認しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	掃除や洗濯たたみ等出来る事は、職員と一緒に取り組んで頂いております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人様のご様子を面会時や電話にて報告をさせて頂きご家族様の意見を確認しながら対応しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居後もお友達やお弟子さんの面会も可能な旨を入居時に説明し、今までの関係が途切れない様に努めております。	日本舞踊の先生をしていた利用者のもとにはお弟子さんが面会に来たり電話をかけてきます。入居前の美容院に継続して通っている利用者もいます。利用者に入居前から好きだった縫物を提案し、帰宅願望が収まった事例があります。今までの人や場との関係継続の支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者様同士の交流を楽しめる様に職員が仲介しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後もホーム内のイベントに参加して頂いたりしております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様からの発言を共有できる様に申し送り時、報告して実践に繋げている。	入居時のインテークの際の本人・家族からの聴取に加え、入居後の利用者の発言や生活の様子、ケア時の反応や感触などから思いや暮らし方の希望や意向の把握に努めています。把握した希望や意向は申し送り時に伝達・共有すると共に、申し送りノートで情報を展開しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様やサービスを利用していた事業所から情報収集して把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人記録や業務日誌、申し送りノートで把握しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアカンファレンスを行い介護計画を作成しています。	入居時の聞き取りを踏まえた初回の介護計画を作成し、ケアを開始するなど、適切な工程を踏まえた介護計画を作成しています。その後は年に2回のモニタリングとアセスメントを踏まえ介護計画を作成しています。私をわかってほしいシートなどの工夫も見受けられます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	申し送りノート、業務日誌を活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	そのようなニーズが生じた際には、申し送り時に話しあいをしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	いたち川の桜を見に行く事を楽しみにされている入居者様が多くいます。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回提携している医療機関が往診に来ます。往診医の指示のもと適切な医療をうけられる様に支援しております。	内科を専門とする提携の医療機関による月に2回の訪問診療に加え、同医療機関とは利用者の急変時や夜間・休日等の診療を可能とする医療連携体制を構築しています。希望者を対象とした提携の歯科医による週に1回の訪問診療も実施しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員が気付いた内容は、訪問看護師に情報提供をし、医師に繋いで頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の病院へ入院後の情報収集やお見舞い、退院時のカンファレンスに参加しております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期医療については入居時、指針を説明しております。その後、定期的にご家族様から終末期の対応について意向を伺い支援体制の構築に努めております。	入居時に、終末期の基本的な対応方針と方法について説明の上、了承を得てケアを開始しています。その後は必要に応じ家族と話し合いを行い、合意を得て終末期ケアを行っています。看取り研修は定期的な開催に加え、必要都度、追加研修を実施しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時対応の研修を実施しております。また発生時、速やかに対応できる様に日頃から申し送りの時に情報共有をしております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練を実施しております。地域の防災訓練にも出来るだけ参加し、情報交換を行っております。	年2回の避難訓練を実施しています。避難訓練は想定シナリオに基づく実践的な訓練となっており、実施後には振り返りも行っています。自然災害を踏まえたBCP（業務継続計画）は作成中となります。飲料水やコンロ等の非常災害備品も整えています。	省令に基づき、自然災害を踏まえたBCP（業務継続計画）策定を急ぐと共に、非常災害備品の見直しが期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声掛けの言葉は、「〇〇さん」からはじまる事が乱れない様に研修や三ーディングを通して継続できる様に努めています。	利用者に「さん付け」の声掛けを始めとした接遇マナーの徹底を求めています。排泄や入浴などにおけるプライバシーの確保も心掛けるよう指導しています。不適切な声掛けや対応を発見の際は、都度、指導を行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様のご意見を確認してから支援に入る事を徹底しております。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様のご意見を確認してから支援に入る事を徹底しております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出やレクリエーションを通して、おしゃれの機会に触れる様に支援しております。			
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理は、職員が手作りにて提供しております。盛り付け、味見を料理が好きな入居者様にして頂いております。食事後は、交代で食器拭きをして頂いております。	献立とレシピ付きの食材宅配サービスを利用、事業所で調理するという方式で食事を提供しています。副菜等は食材から自前で調達の上、調理し、提供することや行事の際には特別メニューを選択することもあります。正月に「串カツレク」や、節分時におやつレクを行ない、利用者にはできる範囲でお手伝いをして貰っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事、水分摂取状況を記録し、個別な支援に活かしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアの声掛けや介助を行っております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご本人様の排泄状況を把握し、声掛けや誘導を行っております。オムツの使用については、ご本人様と相談の上、対応しております。	In-Out表を使用し、個人ごとの水分摂取量と排泄時間・排泄量ほかを記録しています。個人ごとの記録に基づき排泄パターンを把握の上、排泄支援を行っています。夜間の睡眠を優先するための夜間のオムツ使用については、本人に相談の上、利用者の意思を尊重し使用するか否かを検討しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	訪問看護師と相談しながら対応しております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴日は、決まっておりますが、その日のお好きな時間に入って頂ける様に配慮しています。	入浴拒否への対応として、職員や入浴時間の変更に加えて、入浴後の楽しみを具体的に伝えることで、入浴を促すように心がけています。また、入浴支援日を設け、支援を行わない日には外出支援を実施するなど、メリハリのある支援を行っています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご本人様の状態に合わせて柔軟に対応しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医、訪問看護師、薬剤師から指示を頂きながら対応しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お得意な事、好きな事は、意欲的に取り組める様に声掛けをさせて頂いております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩は、日常的に行っております。非日常的な場所への外出は、ご家族様の協力を頂いております。	近隣のいたち川を30分程で周回する散策コースを設定、気候の良い時期はこのコースを利用した外出支援を週に2回程行っています。外出困難者に対しては、1階のウッドデッキで外気浴を行っています。利用者の個別要望に沿った外出は家族の支援を得て実施しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご希望がございましたら、その都度対応しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望がございましたら、その都度対応しております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	掃除や整理整頓を行う時間を業務内に組み込み対応しております。	1,2階共、広々として余裕があり、かつ、明るい日差しの射す共用空間となっています。季節イベントとして制作した節分の飾りも、さり気なく装飾されています。事業所、運営法人は5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）にとっても気を配り、共用空間は常に清潔な状態となるようにしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	入居者様が、居室や談話室等、好きな場所にて過ごす生活環境を維持出来る様に日頃から話し合いをしております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人様が居心地よくすごせる様に入居時に使い慣れた物を持参して頂くように説明しております。	居室には大型クローゼットのほか、エアコン、ベッドと照明器具などの備品が備え付けられています。それ以外は利用者の持ち込みとなります。入居時には環境変化によるダメージを低減するため、できるだけ使い慣れたものや好みのものを持ち込んでもらうように伝えています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室や自席には、表札や名前を付けさせて頂いております。トイレもご自分で行かれる様に表記させて頂いております。		

事業所名	グループホームちいさな手癒しの里横浜さかえ
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	✓	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	✓	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		✓	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		✓	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	✓	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	✓	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		✓	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	会社、事業所の理念を毎朝の朝礼時に「クレドカード」の唱和と、事業所理念の唱和を行っております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	オーナー様がホーム隣にて毎週、野菜の直売を行っており、散歩時には、入居者様も会話をされております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	いたち川の清掃活動に参加した事があります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回のペースで開催しております。オーナー様、包括、民生委員に参加をお願いし開催しております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	栄区役所の方に運営推進会議への参加依頼、開催後の議事録を提出しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業員への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的に委員会や研修会を行い身体拘束をしないケアの実践をしております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に委員会や研修会を行い虐待防止の徹底に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員へは、研修会にて権利擁護についての知識の習得に努めております。また制度については、運営推進会議にて情報収集を行い制度の活用ができる様に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居の契約時には、契約者様と一緒に契約書の読み合わせを行い、疑問点や質問点を確認しております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時、入居者様の様子を話しながらご家族様の意見を伺っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々、職員には意見を言える様に「何かありますか。」と確認しております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	社内表彰があります。年間稼働率賞を受賞する事ができました。このような表彰制度がやりがいに繋がっております。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新入職者は、本部にて開催する研修に参加し会社の考えを習得できる機会があります。初任者研修、実務者研修を受講できる環境があります。実務では、OJT期間を職員の力量に合わせて柔軟に調整しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	本社にて管理者会議が定期的に行われ、その会議が交流の場にもなっております。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前、ご本人様にお会いし、不安の軽減や要望が実現できる様に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居相談時、契約時に確認しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居相談時、入居前にご本人様にお会いした時、契約時にその都度確認しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	掃除や洗濯たたみ等出来る事は、職員と一緒に取り組んで頂いております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人様のご様子を面会時や電話にて報告をさせて頂きご家族様の意見を確認しながら対応しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居後もお友達やお弟子さんの面会も可能な旨を入居時に説明し、今までの関係が途切れない様に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者様同士の交流を楽しめる様に職員が仲介しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後もホーム内のイベントに参加して頂いたりしております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様からの発言を共有できる様に申し送り時、報告して実践に繋げている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様やサービスを利用していた事業所から情報収集して把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人記録や業務日誌、申し送りノートで把握しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアカンファレンスを行い介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	申し送りノート、業務日誌を活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	そのようなニーズが生じた際には、申し送り時に話しあいをしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	いたち川の桜を見に行く事を楽しみにされている入居者様が多くいます。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回提携している医療機関が往診に来ます。往診医の指示のもと適切な医療を受けられる様に支援しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員が気付いた内容は、訪問看護師に情報提供をし、医師に繋いで頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の病院へ入院後の情報収集やお見舞い、退院時のカンファレンスに参加しております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期医療については入居時、指針を説明しております。その後、定期的にご家族様から終末期の対応について意向を伺い支援体制の構築に努めております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時対応の研修を実施しております。また発生時、速やかに対応できる様に日頃から申し送りの時に情報共有をしております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練を実施しております。地域の防災訓練にも出来るだけ参加し、情報交換を行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声掛けの言葉は、「〇〇さん」からはじまる事が乱れない様に研修や三ーディングを通して継続できる様に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様のご意見を確認してから支援に入る事を徹底しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様のご意見を確認してから支援に入る事を徹底しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出やレクリエーションを通して、おしゃれの機会に触れる様に支援しております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理は、職員が手作りにて提供しております。盛り付け、味見を料理が好きな入居者様にして頂いております。食事後は、交代で食器拭きをして頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事、水分摂取状況を記録し、個別な支援に活かしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアの声掛けや介助を行っております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご本人様の排泄状況を把握し、声掛けや誘導を行っております。オムツの使用については、ご本人様と相談の上、対応しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	訪問看護師と相談しながら対応しております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴日は、決まっておりますが、その日のお好きな時間に入って頂ける様に配慮しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご本人様の状態に合わせて柔軟に対応しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医、訪問看護師、薬剤師から指示を頂きながら対応しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お得意な事、好きな事は、意欲的に取り組める様に声掛けをさせて頂いております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩は、日常的に行っております。非日常的な場所への外出は、ご家族様の協力を頂いております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご希望がございましたら、その都度対応しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望がございましたら、その都度対応しております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	掃除や整理整頓を行う時間を業務内に組み込み対応しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	入居者様が、居室や談話室等、好きな場所にて過ごす生活環境を維持出来る様に日頃から話し合いをしております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人様が居心地よくすごせる様に入居時に使い慣れた物を持参して頂くように説明しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室や自席には、表札や名前を付けさせて頂いております。トイレもご自分で行かれる様に表記させて頂いております。		

2024年度

事業所名

作成日： 2025 年 5 月 30 日

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	16	災害対策火災や地震、水害時に、昼夜問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	車いすの方がエレベーター使用が出来ない時に、車いすでの階段を身に着ける。	夜勤者が主で車いすの階段昇降、入居者様前向き、後ろ向きでしていますが、車いすの種類によっては重く移動に困難なので違うことも考える。	6ヶ月
2	11	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	排便コントロール 水分摂取をして頂き便秘の際はお薬コントロールをしています。	水分量を紙目に記入をする、中にはわざわざしているとトイレにと言う人もいるので、入居者様の動きをよく見る事。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月